

公表

事業所における児童発達支援自己評価総括表

○事業所名	HIYOKO MUSIC長町南教室		
○保護者評価実施期間	令和7年 5月 15日 ～ 令和7年 5月 31日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	10人	(回答者数) 8人
○従業者評価実施期間	令和7年 5月 15日 ～ 令和7年 5月 31日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6人	(回答者数) 6人
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 6月 4日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	音楽と運動を優しく織り交ぜたプログラム構成です。 リトミック、歌唱、オリジナル体操といった音楽療育をメインに、運動療育も組み合わせている点が強みです。	お子さまたちが飽きずに、いつも新鮮な気持ちで取り組めるよう、1ヶ月ごとにプログラム内容を工夫しております。プログラム内容によっては1週間、2週間もございます。 季節の歌を取り入れたり、新しい楽器に触れる機会を設けたりと、毎月異なる「ワクワク」をご用意しております。	お子様たちの好奇心を刺激し、成長をより一層促す事ができるよう、信頼関係の構築、プログラム練習、グループ内のMUSIC教室と連携を図ります。
2	少人数でのグループ活動を大切にしています。	お兄さんお姉さんの頑張りを小さなお子さんが応援する場面を作ることで、相互に支え合う心を育みます。みんなで一つの歌を歌ったり、楽器を奏でる喜びや、お互いを認め合う温かい経験が、お子さんたちの社会性を豊かに育んでいきます。	お子さま一人ひとりの表情と声が見聞きでき、支援者の表情と声もお子様伝わります。 たとえば、歌や演奏の中でパートを分けたり、簡単な振り付けと一緒に考えたりする活動を取り入れます。
3	「できた！」という小さな成功体験を大切にしております。	楽しい音楽と運動を通じて、お子様たちが自信をつけ、自己肯定感を高めていくお手伝いをしています。ご家庭との連携も大切にしながら、お子さんの成長の喜びを分かち合い、次の「やってみたい！」を応援していきます。	自分のお子さまがどのように活動しているのか知りたいという声をいただきました。 見学の機会を設けたり、送迎時受け渡しの短い時間も大切にし、保護者の皆様ときめ細やかなコミュニケーションを心がけていきます。信頼で結ばれた関係を築いていきたいと思ひます。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	送迎時や連絡ツールで活動の様子をお伝えしておりますが、支援者全員がお子さんの成長の様子を同じ目線で共有し、保護者の皆様へお伝えできているかというと、できておりません。	情報共有の徹底 コミュニケーションスキルの向上 相談しやすい環境整備	当日、お子様の様子を共有します。 送迎で遅くなる等の理由で当日が難しい場合には、翌日の朝礼で必ず振り返りをします。 送迎時の短い時間でも、笑顔での声かけや、お子さんのその日の小さな変化を具体的に伝えるなど、日々の温かいコミュニケーションを大切にしていきます。
2	ご希望時間と場所の送迎が難しい曜日がある事です。	同時間帯のお迎え時間が重なっています。	長期休み等の学校休業日は調整可能な場合が多いので、職員全員が対応できるよう、組み立ての軸をつくります。